



地域での 男女共同参画実態調査を実施しました

武雄市での地域役員における女性の参画について、また、区で行なう共同作業への出不足金徴収についての調査を実施しました。調査結果の一部をご紹介します。

地域の役職について

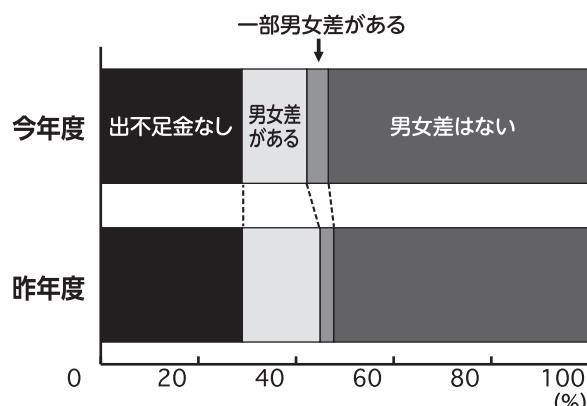


役職に就いている女性の人数(単位:人)

役職名	年度		今年度		昨年度	
	全体	女性	全体	女性	全体	女性
区長	107	1	107	0		
自治公民館長	135	1	135	2		
副区長・区長代理	88	1	90	1		
会計	97	3	96	6		

*「区長」「自治公民館長」は総務課調べ

出不足金がありますか



- 男女の区別なく1人暮らしの75歳以上、障がいをお持ちの方はすべて出不足金の徴収なし。
- 過去には男女差があったが、現在は男女差がないように運営を行っている。区民が全員参加し、協力して作業を行うことに重点をおいている。
- 山間地のため、急斜面での作業や溝等の土砂除去の作業で女性に任せられない所が多くある。また、早急に済ませないといけないので何回にも分けて作業ができない。
- 以前からの慣習で、区役などでは女性は(作業を行った場合でも)30%の出不足金を徴収している。

地域活動で感じる男女共同参画について

- 区の役職は男性がするものという根強い潜在意識が存在する。区の会合や交流の場において啓発等、継続的な意識改革に向けた雰囲気作りが必要であると考える。
- 地域の役職等、選任に当たってもっと女性も積極的に手を上げてほしい。(推薦しても辞退される)
- 地域の活性化のためには(男女共同参画を)是非進めるべきと考える。平成23年度より委員会を女性にお願いして取り組み始めた。
- 地域で活動するときに、男女の差を感じたことはあまりない。行事をするときは、男性も一緒に料理を作ったり食器を洗ったり、お茶をいれたりする。区の役職についている女性も多く、大いに活躍している。

前回調査との比較

	今年度	昨年度
時期	平成23年8月	平成22年10月
回答者	市内行政区区長	市内行政区区長
回答数	105(107中) ※回答率98%	107(107中) ※回答率100%



問 つながる部 男女参画課
(23)9141